

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	488 環境保全対策事業	会計	01	一般会計
		款	04	衛生費
		項	01	保健衛生費
基本	19 自然と共生する、住みよいまちをつくる	目	03	環境対策費
		細目	254	環境保全対策事業
行革大綱の重点事項番号		細々目	51	環境保全対策事業
担当部署	コード 653000 名称 阿山支所住民福祉課	担当者氏名	今井健次	連絡先 43 - 0333 (内線)

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	住民の生活環境	※対象件数
成果(どうする)	地域住民に環境保全の重要性を認識させ、快適な生活環境を確保する。	
根拠法令・要綱等		
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	環境/パトロール事業
H22 事業内容	空き地の雑草等除去の催告及び指導。 年1回空き地の現地調査を行い、対象者に「催告書」を送付(4件)。その後現場確認を行う。また、近隣住民からの苦情などがあれば、現場確認のうえ対処する。 一般廃棄物の不法投棄の監視、住民からの連絡による不法投棄の除去。 「全国ごみ不法投棄監視ウィーク」に伴う街頭啓発の実施。 管内の不法投棄物回収作業(県建設事務所、区、清掃事業課の協力)。 管内不法投棄多発路線の対応。	
社会情勢の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
空き地の雑草除去の「催告書」等の送付	目標	通	19	19	4	4
	実績		19	4		4
「不法投棄監視ウィーク」啓発活動(道の駅)	目標	人	6	6	6	6
	実績		6	6		6

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値		
				H21	H22	H23	H24	
不法投棄の報告件数	報告件数の減少による効果	報告件数の減少による効果	件	目標	2	2	15	15
				実績	2	17		
空き地の雑草等に対する近隣住民からの苦情	苦情件数の減少による効果	苦情件数の減少による効果	件	目標	2	2	3	3
				実績	2	4		

投入コスト	直接事業費計(A)	H21 決算	H22 決算	H23 当初予算	H24 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
Aの財源内訳	国庫支出金	54	59	42	42
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	54	59	42	42
事業投入人件費(B)		0.8人	0.5人	0.5人	0.5人
フルコスト(A)+(B)		5,814	3,659	3,642	3,642

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
有効性	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	○
	民間のサービスだけでは地域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
達成度	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
効率性	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高いサービス水準や対象を見直す余地がある。	○
	当初設定した計画を 100% 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
	予算の繰越の有無 無	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種類】	
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	

改進黨策	空き地の管理台帳の整備の充実を図る。地区(区長等)からの不法投棄の連絡を受けており、今後も継続して地区でのパトロールの実施が必要。不法投棄の現場があると、繰り返し投棄されることが多い。今後定期パトロールの回数を月1回から2回にしたい。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 空き地の管理台帳の整備が完了している。不法投棄関係については、随時パトロールを実施している。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	福田真由美
事業の方向性	【方向性】 現状維持 【理由】 不法投棄監視パトロールや空き地の管理などの環境保全事業は、今後も取り組んでいく必要があるため現状維持としたい。
現時点における課題、その他	支所管内では、山間部に不法投棄されるケースが多数発生している。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	環境パトロールの強化及び防護策、注意看板の設置を行い、不法投棄されない環境を作る。